

プレモータム ディスカッション テンプレート

ポストモータムでは、終了したプロジェクトを振り返り、うまく行かなかったことから学びを得ることに焦点を当てますが、プレモータムでは、失敗の原因となるリスクを「すべて」洗い出し、失敗の可能性を軽減することに焦点を当てます。ここでの「すべて」とは、ごく些細なものから重大なリスクに至るまで、ありとあらゆるリスクを指します。洗い出しにあたっては、各メンバーもチーム全体も、オープンかつ忌憚のない態度で臨む必要があります。

概要: このアクティビティは次の 3 つのパートに分かれています。

1. 個人やチームでブレインストーミングを行い、プロジェクトが直面しうるあらゆる失敗のシナリオをリストします。
2. チームで話し合い、発生する確率と発生した場合の影響が大きいと思われるリスクを、5〜10 個選択します。
3. その中で最も影響が大きいと判断したリスクについて、対応策をワークシートにまとめます。

必要な役割: ファシリテーター、記録係

パート 1.「失敗のブレインストーミング セッション」

もし明日インターネットが使えなくなったら...もし会社が倒産したら...もし上司が怪物に食べられてしまったら...

この最初のセッションでは、思い切って広い視野で考えてみてください。プロジェクトに支障を来す可能性が少ないリスクもすべて書き出します。

「優れたアイデアというのは、最初はどれもクレイジーに聞こえる。」- ラリー ペイジ

各自でのブレインストーミング (10 分)

- プロジェクトに潜むリスクを網羅したリストを作ります。大小関係なく、「言いにくいリスク」も洗いざらい挙げます。
- 注: 対応策については後で検討するための時間を取るので、ここで考える必要はありません。

グループでの共有 (25 分)

- チームメンバーが安心して意欲的にアイデアを共有できる雰囲気を作ります。詳しくは、[心理的安全性を高めるためにマネージャーにできること](#)をご覧ください。
- 記録係を決め、このセッションで出された全員のアイデアを書き留めてもらいます。同じアイデアが繰り返し出たことも記録に含めます。
- 各自に発言の機会を与え、全員でチームのすべてのアイデアを共有します。他人のアイデアを批判せず、冗談が言える雰囲気が大切です。

[illegible]

パート 2. 現実となりうるリスクの選択

チームで話し合い、起きる確率と起きた場合の影響が最も大きいと思うリスクを 5～10 個選択します。

グループ ディスカッション(30 分)

- 次の問いを発してみ、最も重要と考える 5～10 個のリスクに優先順位を付けます。
 - 最も懸念すべきリスクはどれか。
 - 発生する可能性が最も高いリスクはどれか。
 - 対応可能なリスクはどれか。
 - 最も重大な影響を及ぼすリスクはどれか。
- 注: 中には、発生する可能性は高いが影響は小さいリスクや、発生する可能性は低いが影響が大きいリスクもあります。チームで優先順位付けを行う際の参考として、[こちらのフレームワーク](#)をご利用ください。
- 上位 5～10 のリスクを以下に書き出します。

上位 5～10 のリスク

1. _____
2. _____
3. _____

4. _____
5. _____
6. _____
7. _____
8. _____
9. _____
10. _____

パート 3. 次のステップ

上位 5～10 のリスクをリストアップしたので、次はその対応策を考えます。

最も重大なリスクへの対応策

次のフレームワークを使用して、最も重大なリスクとその対処方法を文書化します。

リスク:

担当者:

低 - 高

発生の可能性	
影響	

リスクによってもたらされる結果 / シナリオ:

--

考えられる対応策:

--

最終的な対応計画:

--